

藤枝市の家計と財産の概要

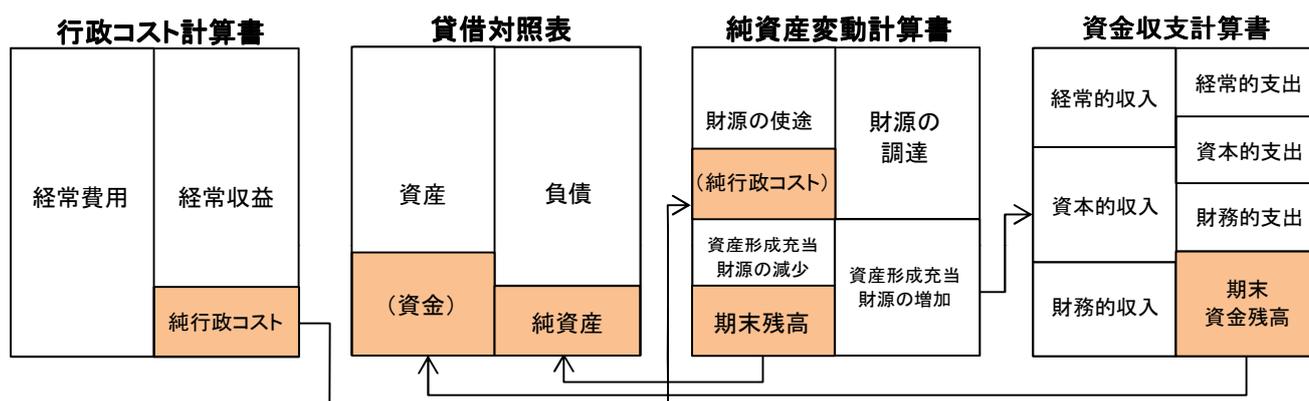
～公会計制度にみる藤枝市の平成26年度決算（簡易版）～

藤枝市では、公会計制度に基づき平成26年度決算における財務諸表を作成しました。これにより、藤枝市の資産状況や現金の流れなどの経営状況を知ることができます。また、財務諸表は民間企業でも作成しているため、民間企業との比較も可能になります。

4つの財務諸表って何？

「行政コスト計算書」、「貸借対照表」、「純資産変動計算書」、「資金収支計算書」のことをいいます。民間の会社でも、それぞれ「損益計算書」、「貸借対照表」、「株主資本等変動計算書」「キャッシュ・フロー計算書」を作成しているので、民間と同じような4つの表を作成することにより、民間との比較が容易になるといわれています。

4つの財務諸表の関係は？



対象となる会計は？

連結会計

単体会計

普通会計

一般会計・土地取得特別会計

【特別会計】

国民健康保険事業、簡易水道事業、公共下水道事業、
駐車場事業、農業集落排水事業、介護保険、後期高齢者医療

【企業会計】

水道事業、病院事業

【その他の団体】

藤枝市土地開発公社、(株)まちづくり藤枝、志太広域事務組合 等

次のページからは、
主に単体会計について
説明するぞ



藤夫

行政コスト計算書

PL

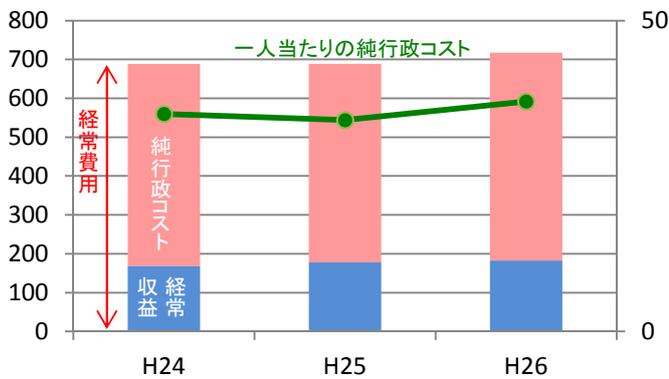
市が行う様々な事業によってかかった「費用」と、使用料や手数料などの「収入」を表します。

(単位:億円)

科目	H24	H25	H26	H26-H25
経常費用	689	689	718	29
経常収益	168	178	183	5
純行政コスト	521	511	535	24
一人当たり(万円)	35	34	37	3

平成26年度は、経常収益(病院の診療収益等)が前年度より5億円増加しました。

また、人事院勧告による月例給・ボーナス支給月数の引き上げにより人件費が7億円増加し、維持補修費や移転支出(国民健康保険や介護保険給付費の増)により経常費用が29億円増加したため、**純行政コストが24億円増加**しました。



<用語説明①> **経常費用**

1年間に提供された行政サービスに要したすべての費用

1. 人にかかるコスト (議員報酬、給与等)
2. 物にかかるコスト (施設維持管理費、備品購入等)
3. 移転支的コスト (こども手当や団体への補助金等)

<用語説明②> **経常収益**

行政サービスの利用で市民が負担する使用料・手数料

※市税は除く

<用語説明③> **純行政コスト**

経常費用から経常収益を引いた純粋な行政コスト

貸借対照表

BS

年度末の資産や負債、純資産を表します。

(単位:億円)

科目	H24	H25	H26	H26-H25
資産	3,854	3,825	3,808	△ 17
負債	1,015	966	1,036	70
純資産	2,839	2,859	2,772	△ 87
公債費	929	893	867	△ 26

平成26年度も市債(借金)の返済が進んでいますが、地方公営企業会計基準の改正による病院事業会計および水道事業会計の見直しにより負債が増え、資産が減少しています。

負債の増

①**長期前受金を計上**

病院事業 約11億円増、水道事業 約29億円増

②**退職給付引当金等を一括計上**

病院事業 約29億円増

資産の減

①**みなし償却制度の廃止による減価償却費の増**

病院事業 約14億円増、水道事業 約 8億円増

負債の3倍以上の資産を保有していますので、財政の健全性は十分確保されています

<用語説明④> **純資産**

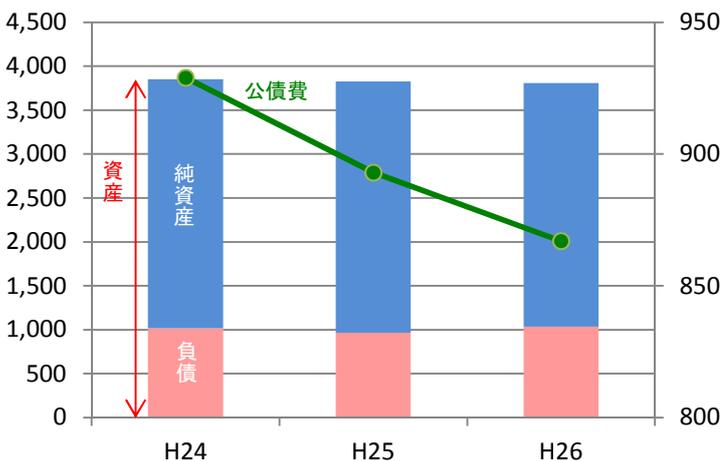
これまでの世代が負担してくれたため、将来返済義務のない純粋な資産

<用語説明⑤> **長期前受金**

国等からの補助金で、減価償却が必要な資産に充てたお金

<用語説明⑥> **退職給付引当金**

将来、職員に支払う退職金のうち当年度の負担となる額。



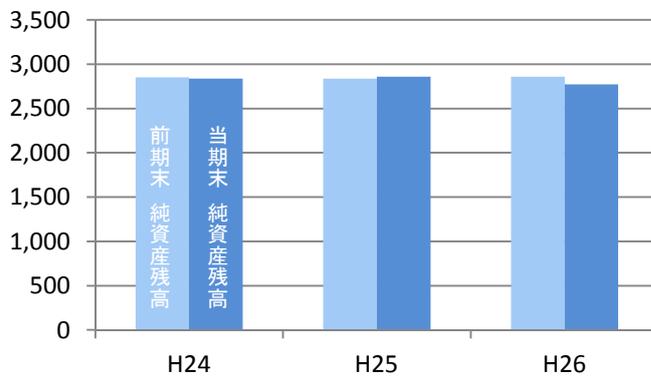
純資産変動計算書

NW

1年間に純資産がどのように増減したかを表します。

(単位:億円)

科目	H24	H25	H26	H26-H25
I 財源変動の部	39	38	△ 14	△ 52
財源の使途	664	674	770	96
財源の調達	703	712	756	44
II 資産形成充当財源変動の部	14	38	54	16
III その他の純資産変動の部	△ 65	△ 56	△ 127	△ 71
当期変動額合 (I + II + III)	△ 12	20	△ 87	△ 107
前期末純資産残高	2,851	2,839	2,859	20
当期末純資産残高	2,839	2,859	2,772	△ 87



財源の調達は、土地開発公社からの貸付金14億円の返済収入や、土地開発基金からの繰入金11億円、国県からの補助金13億円、市税6億円の増加等により**44億円増加**しましたが、

純行政コスト24億円の増加をはじめ、駅北用地・藤枝西高跡地・藤枝東公民館用地の取得費用14億円や、土地開発基金への繰出金14億円、救急センターの建設工事、医療機器の整備費用9億円、病院事業の退職給付引当金29億円の増加等により**財源の使途は96億円増加**となりました。

平成26年度の純資産残高は、**87億円の減少**となりました。

資金収支計算書

CF

1年間の資金の動きを表したもので、どのような活動に資金を使ったかを表します。

(単位:億円)

科目	H24	H25	H26	H26-H25
I 経常的収支	98	111	111	0
II 資本的収支	△ 32	△ 57	△ 72	△ 15
基礎的財政収支 (I + II)	66	54	39	△ 15
III 財務的収支	△ 59	△ 54	△ 35	19
当期資金収支 (I + II + III)	7	0	4	4
期首資金残高	35	42	42	0
期末資金残高	42	42	47	5

基礎的財政収支は**プラス39億円**ということから、行政サービスに係る費用を**新たな借金をせず**、毎年の税収等で賄えていることがわかります。

財務的収支は**マイナス35億円**ということから市債(借金)の返済が積極的に進んでいることがわかります。

資金は、42億円から**5億円増加**し、47億円になりました。

借金の返済も積極的に進んでいて安心だね!



そうよね

<用語説明⑨> **経常的収支**
市税や国県からの収入と、行政サービスに係る支出との差額

<用語説明⑩> **資本的収支**
固定資産等の売却や、貸付金償還によって得た収入と、固定資産等の購入や貸付金への支出との差額

<用語説明⑪> **財務的収支**
新たな借入れによる収入と、借金の元金・利息の返済のために必要な支出との差額

資金収支計算書を我が家の家計簿と比較

藤枝市の資金収支計算書（単体会計）を、藤夫さん一家に置き換えて（10,000分の1）見てみましょう。

資金収支計算書

期首資金残高	42億円
経常収入	781億円
租税収入等	303億円
経常業務費用収入	180億円
移転収入	298億円
資本的収入	61億円
財務的収入	67億円
経常支出	669億円
人件費	151億円
物件費	59億円
経費等	72億円
他会計への移転支出など	2億円
補助金等移転支出	312億円
社会保障関係費等移転支出	73億円
資本的支出	133億円
財務的支出	102億円
当期資金収支	5億円
期末資金残高	47億円

藤夫さん一家の家計簿

今までの貯金	42万円	
収入	909万円	
藤夫の給料	483万円	} 781万円
妻の給料	298万円	
定期預金満期	61万円	
借金	67万円	
支出	904万円	
生活費 （食費・光熱水費等）	210万円	} 669万円
その他経費	72万円	
教育費	2万円	
子どもへの仕送り(2人)	312万円	
医療費	73万円	
増築費	133万円	
住宅ローン返済	102万円	
1年間分の貯金	5万円	
貯金の合計	47万円	

わたしの家の家計簿に置き換えてみると、よくわかるな。
収入と支出のバランスもうまくいっているし、貯金もできているから安心だな。



まとめ

平成26年度は、地方公営企業会計制度の見直しにより負債は増えましたが、市債(借金)は順調に減少しており、基礎的財政収支もプラスであるため、藤枝市の財政は**バランスのよい健全な財政運営**を保っていることがわかります。



藤子

藤枝市の財政状態は
健全で安心だわ。
番外編もみてみましょ！

藤枝市役所 企画財政部財政課
〒426-8722
静岡県藤枝市岡出山1-11-1
電話：054-643-3234 FAX：054-643-3604
E-mail：zaisei@city.fujieda.shizuoka.jp

公会計についてもっと詳しく知りたい方は詳細版の資料もありますので、是非ご覧下さい。
【藤枝市ホームページ】<http://www.city.fujieda.shizuoka.jp> 「藤枝市の財政」— 公会計